

私の留学の経験について

ケイト バムハワ (イギリス ロンドン大学 SOAS)

去年日本へ来た時、この国で2回目だった。しかし、1回目は6年前のことで、日本が変わったように感じたので、引っ越しが少し難しかった。天気は暑く、やることがたくさんあったが、とても興奮していた。最初の数週間のうちに、私はよく出かけ、いつもやりたかったことをした。10月だったので、ハロウィーンは私のお気に入りのイベントで、その月はたくさんのイベントがあった。当時の私の日本語はあまり上手ではなかったが、これらのイベントで人々と話をしてもっと理解できるように、どれだけ改善したいのかを実感した。

授業が始まったとき、日本語で勉強を再開することに準備したが、引っ越したことは、心と体に大きく影響していたし、SOASでの夏休みが長かったので、私の日本語レベルはあまり良くなかった。N3の程度のクラスを受講して、日本語を快適でリラックスした方法で取り戻せるようにした。先生たちはとても理解してくれて、とても親切だった。私は日本語を忘れることにちょっと不安を感じるが、先生たちは理解してくれたので、私は徐々に勉強することで自信を取り戻すことができた。

私はイベントでもっと話し始め、それを通して友達を作った。一日中日本語で話すのは難しいが、素晴らしい練習でしたし、先生や友達のおかげで、私は日本語に自信を持った。そう言っても、読むレベルを改善する必要があり、春休みの間に練習と勉強にもっと時間をかけようと思っている。次の学期に戻る時、私の希望はより難しいクラスを取りたいと思う。N2レベルになりたいと思う。イギリスに戻った時、私は自分の努力でしか達成できないことを知っている。

ここで他の学生にも感謝している。しかし、それはほろ苦い。私が知り合った少数の人々が今や自国に戻っていったからだ。去年、今年、海外の色々な人々に会った、それは大事に留学の時間を考えさせられた。将来、旅行をすることを決めた場合は、ここで作った友達と会って滞在することができる。その見返りに、他の学生がロンドンに来たら、私は彼らを泊めてあげて、辺りを見せたいと思う。国や文化を比較したり、あまりよく知らなかった国について学んだりするのも面白い。新しい交換留学生在が到着することで、新しい人々とこのような絆を結ぶことができればと思う。

すぐに、私の日本語学習をさらに広げ、新しい人と出会うための仕事を探し始めたいと思っている。私は英会話のパートナーになり、人々のレポートをチェックすることを考えている。また、ここ日本で私の趣味を始めたいと思っている。例えば、私は服を作るのが大好きだ。友人が私を日暮里ファブリックタウンに連れて行ってきて、服を作りたいという気持ちが刺激されて、わくわくした。また最近、高尾山に行って、ハイキングを楽しんだり、日本の自然を体験したりした。私はそのような場所を探して、美しい公園や他の自然に満ちた場所時間をかけて訪れたいと思っている。

私の海外留学の目的に関して書くと、今年は帰国時に書く小論文に関する情報を集めなければならない。その観点から、私は書くことができるトピックについて考って、そのトピックのために色々なイベントに行った。

私は日本の LGBT の問題に興味があって、お茶の水大学でこれらのテーマを議論する講義やセミナーに参加し、LGBT の日本人の経験について話をしようとしている。別のトピックのアイデアは、好きなものに対するファンについてだ。私は俳優が関わる多くのイベントに参加した。ファンと話をして、これらの関係がどのように形成され、経験されるかを見るのは興味深いものだった。日本のファン文化はイギリスのそれとは全く違うので、自分でイベントに行った後、私はそれに大きな興味を持ちました。帰国するまでに、私の小さな論文を作成するために多くの研究を集めると思う。

全体的に、学ばなければならなかったことがたくさんありましたが、ここで自分の時間を楽しんでいる。私は SOAS の友達に会えるし、そしてほかにもここにいる他の交換留学生、そして私が自分で作っている日本人の友達がいる。おそらく私は通常の大学生よりも少し年上なので、日常生活は大丈夫だ。しかし、毎日新しいことを試して学ぶことができ、私はすべての新しい経験を楽しんでいる。春休み中に夏休みに旅行するためのお金を貯めたいと思う。また、次の学期に備えて勉強したいと思っている。

